

26T-am02S

沈香に含まれるアガロテトロールと品質評価への応用について

○高松 さくら¹, 伊藤 美千穂¹ (¹京大院薬)

【背景・目的】沈香はジンチョウゲ科 *Aquilaria* 属植物の幹に黒色の樹脂が沈着した部分であり、葉や薫香料として用いられる。また沈香水抽出物中には、アガロテトロールが多く含まれる。本研究では、沈香に含まれるアガロテトロール量が沈香の品質評価指標になる可能性を考え、産地・用途等の異なる沈香についてアガロテトロールの含有量を比較した。

【方法】各沈香サンプルについて、ジエチルエーテル抽出エキスを GC-MS 分析、また酢酸エチル抽出エキスと水抽出エキスについてそれぞれ HPLC 分析を行い、各クロマトパターンを比較するとともにアガロテトロール含有量を比較した。

【結果・考察】既存の品質評価法では、日本薬局方外生薬規格 2015 に TLC による沈香の確認試験が示されているが、その指標成分は明確に示されておらず、特定の成分名について言及されていない。沈香の薬効成分については明らかでないが、水溶性であるアガロテトロールは沈香を含む煎剤に含まれると予想されることから、沈香の薬効に寄与する成分の 1 つである可能性が考えられる。またアガロテトロールは樹脂化のないジンコウジュには含まれない化合物であったことから、樹脂化の有無を見分け、沈香であるか否かを判断する指標になり得る化合物であると考えられる。さらに本化合物は、実験で分析した薬用・香料用沈香、また産地の異なる沈香サンプル全てに含まれ、各々の沈香中での含有量%が高い化合物であったことから、沈香を特徴づける成分であり、かつ様々な沈香サンプルの評価に適応しやすい指標である可能性が考えられる。そこでアガロテトロールに注目し、各種沈香の本化合物含有量等を調査したので報告する。

日本生薬学会第 63 回年会 2P-37 (2016), 高松 さくら, 伊藤 美千穂